

平成 2 5 年 度

会 計 課  
定 期 監 査 報 告 書

笛 吹 市 監 査 委 員

## 1 監査の対象

会計課に係る財務に関する事務の執行状態並びに事業の管理状態について監査を実施。

## 2 監査基準日・監査の範囲

平成26年2月28日現在の財務及び事務に関すること

## 3 監査の実施日

平成26年3月24日 午前11時から

## 4 監査の方法

監査の対象となった一般会計の下記項目について、会計課から提出された資料に基づき説明聴取を行うとともに、関係帳簿、証憑書類の突合及び計算突合等により関係諸記録を相互に付き合わせ、その記録又は計算の成否を確かめた。

1 「職員の事務分掌表」

2 「懸案事項及び業務に関する問題点」

3 「指定事項調書」

① 笛吹市財務規則第223条による各課等の会計事務の検査結果について

② 笛吹市財務規則第224条による指定金融機関等の検査結果について

③ 笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づく委員会の開催状況について

④ 今年度の基金運用の成果と来年度に向けた方向性について

## 5 監査の着眼点

監査にあたり次の点に着眼し監査を行った。

- ・ 事務事業が法、条例規則等に則り適正に行われているか。
- ・ 住民サービス向上の観点から、現行の事務事業が適正なものか否か。
- ・ 現金出納が適正に行われているか。

## 6 監査の結果

事務・事業の執行状況

会計課に係る主な事務事業の執行については、良好であると認められる。

なお、監査において気がついた点を後述するので、今後適切な措置を講じられたい。

## 7 指摘・要望事項

会計課	事務 事業	①笛吹市ペイオフ対策検討委員会については、アドバイザーを交えた研修会の開催や職員研修についても積極的にいき、スペシャリストの育成に努めること。
-----	----------	---

## 8 指定事項の回答について

本監査において、監査委員が指定した事項（指定事項調書）については、その現状及び今後の方針が以下のとおり回答された。

### 《指定事項①》

笛吹市財務規則第223条による各課等の会計事務の検査結果について

#### 《現状及び今後の方針》

- 本庁・各支所の窓口におけるつり銭検査を実施（平成26年2月26日、27日、3月3日、5日、6日実施）。適切に処理されておりました。
- 資金前渡資金のうち、長期未清算となっている現金の管理状況について平成26年2月26日、27日、28日関係課での実施検査確認を行い適切な取扱いを確認しました。

### 《指定事項②》

笛吹市財務規則第224条による指定金融機関等の検査結果について

#### 《現状及び今後の方針》

- 笛吹市指定金融機関等への検査については、地方自治法施行令・笛吹市財務規則に基づき実施しています。笛吹市指定金融機関は山梨中央銀行（石和支店）、収納代理機関は山梨県民信用組合（石和支店）・JAフルーツ山梨（山梨支所）・笛吹農協（本所）について検査を実施。本年度は2月4日・5日・12日に実施。処理簿等適切に管理処理されておりました。

### 《指定事項③》

笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づく委員会の開催状況について

#### 《現状及び今後の方針》

- 笛吹市ペイオフ対策検討委員会設置要綱に基づき、会計管理者の招集により平成25年10月9日検討委員会を開催しました。
- 委員は関係部局職員6名で構成、市長会を通じて調査を委託している調査機関からの指定金融機関、収納代理金融機関の経営状況等の平成25年3月期決算（農協は1月期決算）調査報告資料を参考に、市内の経済動向もふまえて検討を行っています。
- なお、調査については年2回実施、9月中間決算（農協は7月）を対象の調査結果概要については検討委員に直接決裁時説明、市長には会議結果を含め報告、決裁処理を行っています。

### 《指定事項④》

今年度の基金運用の成果と来年度に向けた方向性について

#### 《現状及び今後の方針》

- 平成23年度末では161億4千100万円余、平成24年度末は166億353万円余と合併特例債等により基金への積み上げが行われたところです。平成26年2月末現在で166億353万円余で、平成25年度末までの基金収益（利息）は当初6千万ほどを予定していましたが、定期預金等の利息の低下をおぎない国債等の債権による長期運用が可能な基金である地域福祉基金・地域振興基金については98%以上を有利な債券運用の拡大を進めています。その他の基金を含め、基金全体の約40%を債券運用を行っているところです。これにより基金収益（利息）の増加が図られ、本年度の収益は北野基金の配当金を含め、8千5百万円を超える状況となっています。
- そのほかの基金につきましては財政部局による早期の基金取り崩しも想定されることから長期運用は控えています。今後も中長期運用が可能な基金は債券運用を進めていくこと

としています。

また、年度末には例年、一時的に多額の資金が不足することから23年度までは財政当局により市中銀行等からの一時借入れにより対応していましたが、今年度においても基金からの一時繰入により資金不足の調達を進めることとしています。

基金状況	平成25年度2月末現在	16,603,535,681
	平成24年度末	16,603,535,681
	平成23年度末	16,141,009,700
基金利息状況	平成25年度末見込(2月末現在)	85,259,481
	平成24年度末	59,644,278
	平成23年度末	63,764,310